

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 柅野地域包括支援センター

1 施設の管理運営

- ①総合相談支援
- ②権利擁護事業
- ③包括的・継続的ケアマネジメント
- ④介護予防ケアマネジメント

2 事業実施内容

①地域ケア会議の開催：個別地域ケア会議にて個別課題の抽出、評価、分析を踏まえ、学区課題や圏域課題におとし各地域ケア会議を開催する。②戸別訪問事業と地域の見守り訪問との連携、独居高齢者の把握と地域の見守り体制の構築支援。③災害時の備え（圏域地域ケア会議にて開催）3回/年実施。対象：医療事業所、介護、地域役員等、④医療と介護の連携強化：圏域防災取組を軸とし、医療PJチームによる会議を10回/年開催し、防災PJ班活動継続（救護、備え、情報共有、地域力向上）地域サロンや地域ケア会議にて備え啓発活動等を実施。医療チーム主催のカンファレンスの開催 3回/年⑤圏域ネットワーク連絡会の充実：ケアマネジャー部会、事務局会議 1回/月開催 研修会や事例検討会開催 4回/年⑥もっと活性化委員会：北山3学区（山間地）特有の課題に対して、行政、区社協、原谷包括と連携し、課題の共有を行った。4回/年

3 サービス提供状況

管理者（センター長 看護師等 介護予防ケアマネジメント業務兼務）1名
主任介護支援専門員 2名（包括的・継続的ケアマネジメント業務兼務）
看護師等1名（介護予防ケアマネジメント業務・センター長業務兼務）
社会福祉士1名（総合相談・支援業務及び権利擁護相談業務と兼務）
介護支援専門員3名、事務員1名（非常勤）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

優先的に発注するよう努めた

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

3,207 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

1,503 件

(3) 収支実績

ア 令和7年度収入状況（単位：円）

委託料	26,789,600
介護保険収入	15,915,702
その他	311,035
収入計	43,016,337

イ 令和7年度支出状況（単位：円）

人件費	37,743,456
事業費	3,195,109
委託費	1,868,315
小額修繕費	2,200
その他	111,670
支出計	42,920,750

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

・意見用紙及び回収箱を受付等に常時設置 ・施設ホームページに意見投稿フォームを設置
--

(2) 利用者満足度把握の結果

(1)において意見投稿なし

(3) 意見等への主な対応状況

意見投稿の際には、内容に応じて速やかに対応していく

7 評価（指定管理者自己評価）

①地域ケア会議 (1)地域ケア会議Ⅰ 行方不明リスクの高い高齢者や地域で見守りが必要な高齢者ケース10件 (2)地域ケア会議Ⅱ及び活動等 4学区：3回/年 参集開催 ※全学区において防災の取り組みを実施。大震災時の各学区の被害想定、ハザードマップ、防災リュック作り、地域でできる備えについて検討 ※各学区の避難訓練への参加。地域各種団体会長会議 1回/2カ月 上賀茂学区（地域主体）防災PJチームの立ち上げ会議や研修会への参加等への参加を行い、地域と事業所の連携強化を行った。 ※地域の居場所サロン支援：圏域のデイサービスや小規模多機能、有料老人ホーム等の協力にて開催 ※雲ヶ畑学区：北山3学区もっと活性化委員会：4回/年 各学区の出張所長から見る学区課題、共有 (3)地域ケア会議Ⅲ：10回/年 参集開催 防災PJチーム（救護、備え、情報共有、地域力向上）の活動継続 ②終野圏域ネットワーク会議 ※ケアマネジャー部会：事務局会議（1回/月）企画；勉強会2回開催 終野圏域防災プロジェクトチーム事務局会議（1回/月） 【構成員】防災PJチーム代表者等（医師、薬剤師、看護師、福祉用具、施設、DS部会代表、CM部会代表）、北消防署、行政（健康長寿推進担当、地域力防災担当）、連携支援センター 包括支援センター ※防災プロジェクトチーム活動継続（備え班・救護班・情報共有・地域力向上）地域サロンや地域ケア会議への協力、啓発活動等 ※医療チーム事例検討会開催（事例提供：上賀茂診療所、渡辺西賀茂診療所）3回/年 ※運営推進会議 事業所数（特養：1 小規模：2 DS：2 有老：2）出席回数9回参加 ※見守り活動促進事業 独居高齢者戸別訪問 全学区実施
--